

輸送動向について(7月分)

平成20年8月

1. 輸送概況

今月は、24日に岩手県沿岸北部を震源とする最大震度6強の地震が発生したほか、下旬には室蘭線及び日本海縦貫線での大雨による輸送障害が発生し、高速貨68本が運休した。

荷動きは、上旬はやや低調に推移したものの、中旬以降、全国的な猛暑により、季節商品の需要が盛り上がりを見せ、比較的堅調に推移した。

品目別にみると、昨年は、7月16日に発生した新潟県中越沖地震による影響を受けていたこともあり、コンテナ貨物は、すべての品目が前年を上回り、全体では111.0%となった。食料工業品は梅雨明け以降の高温により、清涼飲料水の出荷が強勢となった。また、紙・パルプは一部工場の生産設備増強により、大きく増送となった。

車扱貨物は、セメント・石灰石が前年を上回ったものの、石油などが前年を下回り、全体では前年比92.9%となった。セメント・石灰石は関西地区の工場建設に伴う需要増により、大きく増送となった。一方、石油は燃料転換の進展のほか、価格高騰に伴う消費の減少により、減送となった。

2. 輸送実績

(単位:千トン、%)

種別 扱別	月 計		前年比	年 度 累 計		前年比
	本年実績	前年実績		本年実績	前年実績	
コンテナ	2,042	1,839	111.0%	7,769	7,536	103.1%
車 扱	865	931	92.9%	3,447	3,749	91.9%

3. 品目別輸送実績表

(単位:千トン、%)

扱 別	品 目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	150	146	4	102.7%
	化学工業品	196	187	9	104.8%
	化学薬品	146	135	11	108.1%
	食料工業品	332	286	46	116.1%
	紙・パルプ	336	307	29	109.4%
	他工業品	160	135	25	118.5%
	積合せ貨物	209	187	22	111.8%
	自動車部品	82	61	21	134.4%
	家電・情報機器	40	34	6	117.6%
	エコ関連物資	32	31	1	103.2%
	その他	359	331	28	108.5%
	コンテナ計	2,042	1,839	203	111.0%
車 扱	石油	541	581	-40	93.2%
	セメント・石灰石	132	111	21	118.7%
	車 両	91	105	-14	86.3%
	その他	102	134	-32	75.8%
	車 扱 計	865	931	-66	92.9%

(車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値)